



光っ子だより

令和7年10月27日(月)

文責 青濱 伊津子

第7号

→学校HPこれから



『豊かな心をもち、主体的に学びに向かい、たくましく生きる「光っ子」の育成』
～百年の歴史に誇りをもち、未来に生かす教育活動を通して～

●「平和のバトン」を受け継いだ修学旅行～長崎での充実した2日間～●

10月23日(木)～24日(金)、5・6年生が日奈久小5・6年生と合同で、長崎県への修学旅行に行きました。初めての合同修学旅行でしたが、ベテランのバスガイドさんのおかげで、バスの中は仲良く和やかな雰囲気になりました。熊本港から島原港には、豪華フェリー「オーシャンアロー」に乗船。この時、他の修学旅行生も大勢いたので、少し遠慮して控えめな面も見られました。

昼食後の平和講話では、今から80年前、4歳の時に爆心地から3.4km地点で被爆された溝浦 勝(みぞうら まさる)さんにご講話いただきました。講話のお礼に全員で「折り鶴」を歌ったとき、溝浦さんも一緒に口ずさんでいらっしゃる姿に、思わず目が熱くなりました。溝浦さんは、私たちに「平和のバトン」を託されました。私たちは、このバトンをしっかり受け継いで、平和な世界を築いていかなければならない、と強く感じました。

平和講話の後には、いよいよ平和集会です。この日のために、何度も練習を重ねてきました。大勢の観光客がいらっしゃる平和公園で、堂々と力強い声で「誓いの言葉」を発表しました。私たちの平和集会が始まると、不思議なことに観光客で賑わっていた平和祈念像の周囲がシーンと静まり、観光客の方々が遠くから子供たちを見守ってくださいました。最後に、「長崎の最後の被爆地にしたい」という決意を述べて、「クスノキ」を大合唱しました。子供たちの真剣な眼差しと、堂々とした素晴らしい発表・歌声に、とても感動した平和集会でした。



被爆体験をお話いただいた溝浦勝さん



平和祈念像前で平和を誓いました



実際に見て、触れて考えた一本足鳥居と被爆したクスノキ

その後、班別に爆心地公園、当時の防空壕跡、一本足鳥居、被爆クスノキ等を現地ガイドさんと共に見学しました。最後に原爆資料館を見学して、原爆の悲惨さとともに復興した長崎の街を胸に焼き付けて、ホテルに向かいました。ホテルでは、日奈久小の皆さんと交流して仲良くなりました。2日目のハウステンボスも、天気にも恵まれて様々なアトラクションで、秋の1日を楽しむことができました。

たくさんの人と出会い、多くのことを学び、充実した修学旅行でした。そして、昭和小・日奈久小の児童の素晴らしい

しさが光った2日間でした。この交流や学びを、ぜひこれからの生活につなげていってほしいです。

★愛校作業、廃土撤去お世話になりました★

10月5日(日)の愛校作業には、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。また、10月6日(月)には、同仁老人クラブ会長の坂本さんが、数年間たまっていた草や廃土をきれいに撤去していただきました。

学校がとてもさっぱりしました。子供たちが安心・安全に学ぶために、地域の皆様や保護者の皆様のご協力をいただき、心から感謝いたします。



★放課後子供教室(1・2年生空手体験)★

10月20日(月)は、学期に1回の空手体験の日です。この日を1・2年生も楽しみにしていました。講師の本村先生から、挨拶、立ち方、座り方、話の聞き方もご指導があり、声を出して気合充分!

空手の基礎はもちろん、挨拶・礼儀の意味も丁寧にしっかりと教えていただき大変ありがたいです。

多くの地域の方々のご協力により、子供たちは貴重な体験をしており、確実に成長につながっています。



★11月14日(金)の13時35分から「光っ子発表会」です。多くの皆様のご来校をお待ちしています。